

助け合いの輪を広げるために

災害ボランティアの事前登録を募集しています!

近年、全国的に台風や豪雨による災害が多発し、被害の大きさに思わず目を塞ぎたくないような光景が見受けられます。県内でも、台風19号災害をはじめ、豪雨等による被害を受けた地域が多くなってきました。こうした被災地では、多くのボランティアが復興に向けて支援やお手伝いをされてきました。

一方で、新型コロナウイルスによる感染症予防対策として、不特定多数のボランティアが参集することが難しくなっています。より一層地元地区内での復興支援が重要になってきています。

そんなもしもの備えとして、災害ボランティアの事前登録を募集します。登録後は、災害ボランティアの必要な知識技術を習得するための学習や研修を実施します。町内での災害時には、被災者に対しての災害ボランティアの活動募集をします。また、町外では、バスパックでのボランティア活動による、被災地支援を実施することで、経験を積みながら、次の災害への支援に生かせるよう企画運営したいと思います。いざという時のために、皆さまのお力が必要になります。ご協力をお願いします。

募集対象: 災害ボランティア活動に興味関心がある方・団体
御代田町内に「在住」「在勤」「在学」している方・団体

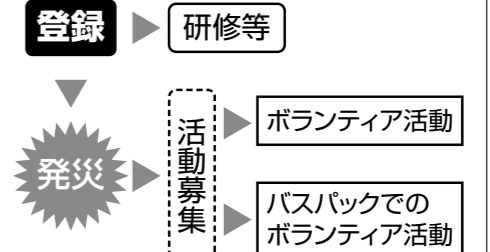
申込方法: 社協窓口(ハートピア館内)、電話にて

活動内容: 事前学習・研修の実施
県内発被災地への復興支援
(家屋清掃、がれきの撤去、泥出し、ボランティアセンター運営手伝い、傾聴、イベントやサロン等の支援)
バスパックを活用した町内外への災害支援

担当職員: 小山岳夫、山田翔太、横谷貴大

問い合わせ先: 町社会福祉協議会(32)1100

【活動の流れ】



介護のつづら

問い合わせ先

地域包括支援センター

(保健福祉課地域包括支援係)

(31)2510

地域包括支援センターではこんな仕事をしています。

シリーズ⑧ 在宅医療・介護のつづら

医療と介護の両方を必要とする方が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう近隣の医療機関や介護・福祉関係者が小諸北佐久医療介護連携推進協議会へ参加し、事業に取り組んでいます。

在宅医療とは

さまざまな病気にかかられた方が自宅や施設などの生活の場において受ける、医師の訪問診療や往診、訪問看護などの医療サービスを在宅医療といえます。外来入院につぐ、第3の医療とも呼ばれているものです。通院が困難な症状の患者さんや、その家族が自宅での療養を希望された場合、さまざまな治療を自宅で継続することができま。

訪問診療について

一人での通院が困難な患者さんのもとに医師が定期的に伺い、計画的に治療・健康管理などをします。定期的な訪問に加え、緊急時には必要に応じて臨時往診や入院先の手配などもします。訪問診療の目的は病気の治

在宅医療介護の費用について

医療保険、もしくは介護保険が適応になります。お持ちの健康保険証の種類、介護保険証に書かれている介護度によって費用負担額が異なりますので、町や担当ケアマネジャーなどに相談してみてください。

在宅医療・介護サービスでは、さまざまなケースで利用されています。

例

療だけではありません。栄養状態の管理や転倒、寝たきり、肺炎や床ずれ等の予防など、予測されるリスクを回避し、入院が必要な状態を未然に防ぐことも重要な役割とされています。また、残された命の時間を、その人らしく生きていくための「支える医療」も大切な役割です。

訪問薬剤管理指導

このようなケースの他、脳梗塞、加齢に伴う衰弱など、さまざまな要因で外来通院が難しくなった患者さんが、在宅医療・介護を利用されています。

在宅医療・介護を受けたいと思つたとき、家族と一緒に家で過ごせるようにしてあげたいと思つたときがスタート地点です。迷つたときには地域包括支援センターにご相談ください。

お知らせ

《介護予防教室》

1月7日(金) 午後1時30分～2時30分
会場 エコールみよた
あつもりホール(予定)
「座ることができる
やさしいヨガ講座」

講師 健康運動指導士・ヨガインストラクター 山本 美枝氏

参加人数の把握、準備のため
事前申込制」としています。

《生活・介護支援サポーター

(11期生)養成講座
1月14日(金)
午後1時30分～3時30分
会場 役場2階大会議室
「認知症について診断から介護まで」
講師 小諸高原病院医師 斎藤 勝仁氏

養成講座は皆さまが始めた
い月から1年間、受講生として講座を受けていただきます。
講座の受講は、3日前までの申し込みが必要です。

申し込み、問い合わせは

保健福祉課地域包括支援係(31)2510まで
お願いします。
なお、新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合がございますので、ご了承ください。

Shin ri shi Vol.11
「真実は、いつも1つ!とは限らない?」
心理師
岡本直人
Oka moto Nao to



南小PTAのみなさん、御守りのイラストをくれた生徒さん、ありがとうございました!

町の心理師、岡本です。前回のコラムで、昨年度の業務件数No.1は家庭や学校、その他関係者が集まる「支援会議」だとお伝えしました。過去にも「子ども支援は大人支援」と書いたことがあるように、子どもを取り巻く大人の皆さんの力が非常に重要であることは言うまでもありません。そこで今回は1つのキーワードをもとに、大人支援、特に保護者支援の一例を紹介したいと思います。

今回は「教える」です。相談においては子どもの状態や様子について、「なぜそうなっているのか?」という質問を受けることが少なくありません。その際、心理学的あるいは精神医学的な見方から、その由来やメカニズムを説明・共有することがあります。もちろん私は医師ではないので、診断や処方といった医療行為はできません。けれども、正しく知ることは適切な理解や対応への第一歩となります。すべての相談に医療が必要なわけではありませんが、家庭や学校における正しい理解や対応は、むしろすべての相談に共通して大切なポイントです。

最近だと、やはり発達障がいについて説明することが多いように感じます。他にも、発達障がい以外の障がいや症状についての質問だったり、緊張や不安の理由や対応について聞かれたりすることもあります。過去には〇〇療法や〇〇技法について知りたいといった、心理学フリークな強者もいらっしゃいました。

心理のイメージとして相談やカウンセリングなどがあると思いますが、このように「教える」ということも重要な業務の1つになっています。〇〇について知りたい、教えてといったご要望がありましたら、ぜひお声がけください(人様に教えるなんて、身の丈に合っていないんですが…)。

問い合わせ先 教育委員会学校教育係(32)9100



オリジナルな一品を作成しませんか

二企画印刷(有) TEL.0267・32・2502
http://www.unipp.net

ちよつと
抜け出して
珈琲一杯。



自家焙煎珈琲豆販売
SANGA COFFEE
12月31日～1月3日まで
1月4日より営業します。

自家焙煎珈琲豆販売
SANGA COFFEE

長野県北佐久郡御代田町御代田1972-1(小田井交差点西入) 11:00~18:00 Tel.0267-32-6718 / Fax.0267-32-6784

(広告欄)